

砂川市中心市街地区

(砂川市立病院) <http://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/>

旧病院



新病院 (本館・南館・立体駐車場)



【事業の目的】

本地区は、市街地の中心部に位置し、JR砂川駅やバス待合所といった公共交通機関の利便が良く、本市の交通軸である国道12号からも近いことから、周辺地域からの乗用車等によるアクセスが容易であり、加えて中心商店街も近距離にある。また、市民生活に欠かせない市役所、公民館、図書館等の公共公益施設が集積しており、市民をはじめ多くの人の憩いの場となっている砂川オアシスパークが近接している。

そこに位置する市立病院は施設全体の老朽化、狭隘による療養環境の不備や高度多様化する医療への対応能力の不足、さらには耐震強度が脆弱なため災害拠点病院としての機能発揮への危惧、加えて絶対的な駐車場不足等の大きな問題を抱えていた。こうしたなか、本市の長年の懸案事項であった駅東部開発において、老朽化した市民会館機能を兼ね備えた複合施設を建設できることと、市民会館等の跡地を病院建設用地として活用できる有益性をもって、新病院の改築位置を現在地周辺とし、早期改築に向けて取り組んでいく方針を固めた。その後、市町村合併の方向性も考慮したが、合併協議が不調に終わり、当面自立のまちづくりとなったことから、砂川市単独で現在地周辺での病院建設を目指すこととなった。

病院改築にあたっては、高度多様化する医療への対応や、地震・水害対策などを入念に検討し、災害に強い急性期幹病院としての機能を一層充実させることはもちろんのこと、本地区の人々の集い、交流、にぎわい等を再生するためには、当院改築事業が必要不可欠であるとともに、本市のまちづくりの重点課題であるまちなか活性化を勘案して、事業計画を取り進めたところである。

【施設の概要】

事業期間：H18～H24 年度

施行者：砂川市

所在地：砂川市西4条北3丁目

地区面積：約2.6ha

敷地面積：19,812㎡

建築面積：本館 11,603㎡

：南館 1,346㎡

：立体駐車場 3,402㎡

延床面積：本館 35,297㎡

：南館 8,208㎡

：立体駐車場 6,848㎡

駐車可能面積 10,208㎡

用途：公益施設（医療施設：病院）

階数等：本館 SRC造、免震構造、地上7階

：南館 S造、耐震構造、地上6階

：立体駐車場 S造、2層3段自走式

総事業費：14,031（百万円）

うち国費：1,672（百万円）

位置図



位置図

配置図

